

平成30年版

消 防 年 報



第48回全国消防救助技術大会
「ほふく救出」競技 出場チーム
(2年連続、H30京都市大会は
台風20号上陸により中止)

豊後大野市消防本部
(令和元年刊行)

は し が き

この年報は、平成 30 年中における豊後大野市消防本部の消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、収録の統計資料は、暦年単位で表し、予算関係事項については会計年度で作成しています。また、これらによらないものは当該表に記載しています。

令和元年 8 月

豊後大野市消防本部

目 次

第1章 総 務

1. 豊後大野市消防本部のあゆみ	1 ~ 5
2. 管内の概況	6
(1) 人口と世帯数、管内面積	6
3. 予算・決算	7
(1) 消防予算・決算	7
(2) 消防費世帯、人口等対比	7
(3) 消防予算、決算 費目別	7

第2章 組織と構成

1. 消防本部・消防署	8
(1) 組織図	8
(2) 消防本部・消防署の事務分掌	9 ~ 10
(3) 名称・位置・管轄区域	11
2. 消防職員の現況	11
(1) 署所別職員数	11
(2) 階級別年齢構成	12
(3) 職員教養状況	13

第3章 施 設

1. 消防庁舎等の現況	14
2. 車両	15
3. 消防無線一覧	16
4. 消防水利の現況	16

第4章 消 防 団

1. 豊後大野市消防団組織図	17
2. 消防団の現況	18
(1) 年齢別職名別消防団員数	18
(2) 在職年数別職名別消防団員数	19
(3) 消防団員及び消防団車両の配置状況	20

第5章 予 防

1. 危険物及び火薬類等の事務処理状況	21
(1) 危険物施設事務処理状況	21
(2) 火薬類事務処理状況	22
(3) 少量危険物、圧縮アセチレンガス等届出状況	22
2. 防火対象物	23
(1) 令別表第1の防火対象物数	23
(2) 中高層建築物の現況	24
(3) 項別防火対象物の消防用設備等設置状況	25 ～ 26
3. 各種届出状況	27
(1) 豊後大野市火災予防条例による届出状況	27
(2) 消防用設備状況	27
(3) 防火管理者等の届出状況	27
(4) 指導書及び意見書の状況	27
4. 気象の状況	28
(1) 月別温度・湿度状況	28
(2) 月別風速・雨量状況	28

第6章 消 防

1. 火災の概況	29
(1) 前年との対比	29
(2) 月別火災状況	30
(3) 曜日別火災状況	30
(4) 月別出動状況	31
(5) 用途別出火原因数	31
2. 過去の火災統計	32
(1) 年次別火災発生件数	32
(2) 原因別火災発生件数	32

第7章 救 急

1. 救急の概況	33
(1) 事故種別救急件数	33
(2) 月別発生件数	33
(3) 曜日別出動状況	34
(4) 医療機関別搬送人員	34
(5) 覚知から医療機関等に要した時間別搬送人員	34
(6) 時間別救急出動. 搬送人員件数	35
(7) 覚知別救急出動状況	36
(8) 傷病程度別搬送状況	36
(9) 場所別出動状況	36
(10) 年齢区分別搬送状況	37
(11) 年齢区分別傷病程度状況	37
2. 過去の救急統計	38
(1) 事故別出動状況	38
(2) 月別出動状況	38

第8章 救 助

1. 救助の概況	39
(1) 活動状況	39

第9章 警戒出動

1. 警戒出動の概況	39
(1) 出動内訳	39

第 1 章 総 務

1. 豊後大野市消防本部のあゆみ

年 月	記 事
昭和44年 11月	大野郡東部消防組合設立準備委員会発足 野津町・三重町・清川村・千歳村・犬飼町の各町村長、消防団長で構成
45年 2月	組合設立許可申請 同許可
4月	消防本部・署の義務設置町村の政令指定
4月	職員2名（消防司令1名、司令補1名）を発令 庁舎の建設、消防資機材の整備並びに職員採用及び教養計画の諸準備
10月	本部・署・派出所起工式
12月	野津分署起工式
46年 2月	消防職員49名を発令 県消防学校初任科へ入校
3月	初任科訓練終了
4月	本部・署・分署・派出所の開庁及び実働開始（職員52名） （水槽付ポンプ自動車1台、ポンプ車2台、救急車1台、指令車1台）
47年 2月	大野町から組合加入についての申し入れ書受付
3月	大野町組合加入を承認議決～組合規約の変更申請
4月	同許可（大野町加入が正式決定 諸準備にかかる）
7月	大分県下消防署長会議を当消防署にて開催
8月	清川村に夜間のみ連絡所を開設 職員2名を派遣
48年 2月	消防職員13名を発令 県消防学校初任科へ入校
3月	同初任科終了
4月	大野分署開庁 13名で実働開始（ポンプ車1台）
8月	日本消防協会より救急自動車を受領し犬飼派出所に配備 併せて野津分署にも救急車を配備 救急体制の強化を図る
49年 4月	千歳村に夜間のみ連絡所を開設 職員2名を派遣
12月	消防ポンプ車1台を購入 犬飼派出所に配備
50年 1月	消防本部に課制を設ける 犬飼派出所を分署に昇格 本署通信室の失火事件発生
11月	救急業務協力推進事業委託契約を大野郡医師会と締結
51年 1月	救急業務協力推進事業の実施
3月	県下常備消防相互応援協定調印
4月	大分県消防長会議が当本部に於いて開催される
8月	林野火災特別対策事業の認可申請
11月	職員定数66名を72名に改正する条例議決
12月	指令車兼工作車（三菱ジープ）を購入 本署に配備
52年 4月	新採用7名発令（2名消防学校初任科入校）
6月	広報車を購入 本署に配備
53年 2月	第1回消防職員昇任試験を実施 連絡車2台を購入 清川・千歳連絡所用に充てる 訓練主塔が完成 九州消防技術指導会に初出場 救急自動車を日本損害保険協会から受領し大野分署に配備 併せて野津分署の救急車を更新

年 月	記 事
54年 2月	千歳村柴山沈橋においてタクシー押流事故発生 2名救助
8月	副訓練塔完成
9月	職員定数72名を78名に改正する条例を議決
10月	千歳村大野川タクシー押流事故における人命救助の功績により知事表彰を機関・個人（尾石士長）が受領
11月	尾石士長他2名社会貢献者表彰を日本顕彰会から受領
55年 4月	新採用8名発令（9名県消防学校初任科へ入校）
10月	組合10周年記念式典 大分県消防職員意見発表会（当消防本部から3名参加） 消防本部執務体制の強化（予防要員等3名増員）
56年 3月	本署職員車庫完成
12月	水上救助隊県代表で九州大会出場（入賞） 前内田・今俣両婦人防火クラブ県代表として第5回婦人防火クラブ全国大会出席
57年 5月	大分県企業局から電気事業30周年記念としてポンプ車（A2級）受領
8月	陸上救助隊県代表で九州大会出場（入賞）
58年 6月	犬飼分署の救急車更新
8月	日本消防協会から指令広報車（カーリーナ1600cc）を受領
12月	水上・陸上救助隊県代表で九州大会出場（入賞） 清川・千歳連絡車を更新
59年 4月	通信集中指令装置による業務開始
8月	水上救助隊県代表で九州大会に出場（入賞）
60年 1月	大野地区共済組合から予防広報車（スバルサンバー<軽>）受領 本署に配備
10月	本署の水槽付消防ポンプ自動車（水II型）を更新
10月	野津分署の消防ポンプ自動車（A2級）を更新
10月	消防無線（固定6基）を更新
12月	本署の救急車（トヨタ）を更新
61年 8月	日本消防協会から救急自動車を受領 野津分署に配備
10月	大野分署の消防ポンプ自動車を更新
10月	大分県消防職員駅伝大会参加（3位入賞）
11月	日本防火協会から防火広報車（9人乗り）を受領 本署に配備
11月	婦人防火200万人突破記念全国大会（栃木県宇都宮市）県代表として前内田婦人防火クラブが参加
62年 7月	陸上・水上救助隊県代表で九州大会に5名出場（2名入賞）
8月	すがお保育園に婦人防火クラブが結成され県婦人消防操法大会に出場（5位入賞）
10月	犬飼分署の消防ポンプ自動車（A2級）を更新
63年 3月	自治体消防40周年記念東京大会（3名出席）
5月	指令車（セドリック）購入 本署に配備
7月	陸上・水上救助隊県代表で九州大会に7名出場（6名入賞）
10月	千歳村消防団、全国消防操法大会出場（優良賞受賞）
平成 1年 7月	陸上救助隊県代表で九州大会に4名出場
8月	大分県消防署長会議が当本部に於いて開催
12月	犬飼分署にホース塔完成
2年 7月	陸上・水上救助隊県代表で九州大会に4名出場
7月	7月2日大水害発生 豊肥沿線に大水害をもたらす 大野橋、向野橋、原田橋押流
10月	管内各地で人命救助活動 消防組合発足20周年記念式典挙行

年 月	記 事
3年 8月	日本消防協会から救急自動車受領 犬飼分署に配備
4年 9月 10月	本署救急車を更新 いづみヶ丘婦人消防隊 全国婦人消防操法大会に出場（8位入賞）
5年 1月 8月 9月	4週8休制試行 分署3名当務にて消防車、救急車運用（3部制試行） 百枝婦人消防隊 県婦人消防操法大会に出動（優良賞） 9月3日台風13号による大洪水 各地で土砂崩れ、床下、床上浸水 要救助者11名 総雨量314.2mm
6年 3月 4月 4月 4月 6月 7月	消防救急通信指令装置更新 3階に指令室80㎡を増築 3分署の消防業務を廃し救急派出所に名称変更 清川・千歳連絡所を廃止 独居老人家庭緊急通報システム受信機の設置 大野郡東部危険物安全協会設立25周年記念事業として安全号（スズキカルタス）の 贈呈を受ける 消防職員救助技術大会九州大会4名出場
7年 7月 8月 12月	消防職員救助技術大会九州大会5名出場 大野救急派出所防水工事 野津救急派出所の救急車（トヨタ2400cc）を更新
8年 2月 6月 8月	高度救急資機材を導入 救急三重に整備 水上救助用ゴムボート船外機付更新 第25回全国救助技術大会、水上救助隊複合検索出場（入賞）
9年 3月 3月 8月 10月	消防無線機固定2基、移動4基更新 全国波開設 変電設備（キューピクル）設置 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車受領 本署に配備 救急救命士資格取得1名
10年 4月 12月 12月 12月	管理者、副管理者、収入役無報酬とされる 高度救急資機材を救急野津、救急大野に整備 大野救急車更新及び広報車を火災原因調査車として更新 無線機（車載2台）更新
11年 3月 7月 10月 10月 12月	救急救命士資格取得1名 救急資機材消毒器（滅菌）導入 空気呼吸器2基更新 救急救命士2名資格取得 無線機（携帯用）6基更新
12年 6月 7月 10月 10月 12月	消防活動服を安全面から難燃性に変更 高度救急資機材を救急犬飼に整備 資機材搬送車（4WD 1800cc）本署に配備 救急救命士資格取得1名 犬飼派出所屋根工事
13年 4月 7月 10月 10月 12月 12月	大分県防災航空隊派遣1名 九州救助技術指導会に大分県代表として水陸救助隊7名出場（入賞） 消防組合発足30周年記念式典挙行 救急救命士資格取得1名（資格取得者数8名） 防寒着（ブルゾン）を貸与 2B（Ⅱ課程仕様）救急車を犬飼派出所に更新配備
14年 3月	化学防護服3着を本署に整備

年 月	記 事
14年 4月	安田生命相互会社から高規格救急車を受領 本署に配備
4月	患者監視装置、AED等高度救急資機材を本署救急車に整備
4月	救急救命士資格取得 1名
8月	大野救急派出所下水道整備
10月	救急救命士資格取得者 1名 (資格取得総数10名)
11月	三重ライオンズクラブ、ライオネスクラブから広報車受領 本署に配備
15年 3月	上下式防火衣20着を本署に整備
4月	新採用 2名発令 (定員79名) (2名消防学校入校)
10月	救急救命士資格取得 1名
16年 3月	本署 2号車 (CD1)更新
17年 1月	大野郡東部消防組合から町村合併により野津町脱退
1月	旧野津地区の消防業務について、当分の間消防業務受託
3月	市町村合併により (5町2村) 豊後大野市が誕生 消防本部の名称が豊後大野市消防本部となる
4月	旧緒方町、旧朝地町について、当分の間竹田市消防本部に事務委託
4月	大分県消防長会春季総会 当本部で開催
4月	大分県消防職員意見発表会 (エイトピア)
4月	消防服 (制服、夏冬作業服) 79名に貸与
6月	大野派出所屋根 (防水) 工事
12月	指令車更新 (旧清川村公用車)
18年 3月	任用替職員 3名採用
19年 3月	主に朝地町、大野町を管轄する消防分署を大野町大原1293番地に新築移転し開所式を挙
4月	行
4月	臼杵市消防本部に 8名、竹田市消防本部から15名が身分移管
4月	職員定数を85名に改定
4月	竹田市消防本部・臼杵市消防本部と消防救急事務受委託を解消し、1市1消防本部体制が確立 実働開始式を挙
4月	行
4月	犬飼派出所、大野派出所、緒方分署をそれぞれ東分署、西分署、南分署に名称変更
4月	水槽付ポンプ自動車をも東分署、西分署に配備
4月	東分署水槽付ポンプ自動車を緊急消防援助隊に登録
6月	消防本部屋根 (防水) 工事
10月	九州ブロック緊急消防援助隊訓練が中津市で開催 消火隊が参加
20年 5月	救助用ゴムボートの更新
7月	九州地区消防救助指導会に県代表として 5名出場
7月	消防本部庁舎にAED設置
9月	第63回国民体育大会 (剣道・馬術・ソフト・カヌー) 警備
21年 3月	救助工作車購入
6月	大分県防災航空隊派遣 1名
8月	第38回全国消防救助技術大会 (横浜) 出場 陸上の部 3名・水上の部 3名
9月	高圧空気充填装置更新 (移動式)
22年 3月	査察車更新 (軽四)
3月	水槽付消防ポンプ自動車更新 (南分署)
3月	高規格救急自動車更新 (本署)
4月	消防団事務移管 (総務部～消防本部)
4月	火薬類取締法権限移譲に伴う事務開始
8月	第39回全国消防救助技術大会 (京都) 出場 水上の部 2名
12月	連絡車更新 (南分署)

年 月	記 事
23年 2月	高規格救急自動車へ更新（西分署）
3月	東日本大震災被災地へ職員派遣（緊急消防援助隊） （消火隊5名、支援隊2名【（3/14～3/22 岩手県釜石市鶴住居町】）
3月	指令車更新（指揮車に変更）
4月	朝地町鳥田（神角寺付近）林野火災により8.4ha消失 宮崎県防災ヘリ、自衛隊ヘリへ消火協力要請 翌日鎮火
8月	消防本部・消防署新庁舎建設着工
24年 3月	消防本部・消防署新庁舎完成（豊後大野市三重町内田2827番地1）
3月	高機能消防通信指令システム導入
5月	消防本部・消防署新庁舎開庁式挙行
10月	J A 共済より救急医療エアートントの寄贈を受ける
25年 3月	消防救急デジタル無線整備事業完了
26年 2月	本署支援車、南分署指揮車を更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
3月	水槽付消防ポンプ自動車更新（本署）
8月	第43回全国消防救助技術大会【千葉】 陸上の部 （広島土砂災害発生により中止）
9月	消防署東分署新庁舎建設着工
27年 3月	消防署東分署新庁舎完成・運用開始
4月	新採用に当消防本部初の女性消防吏員
8月	第44回全国消防救助技術大会【兵庫】 陸上の部 1名
10月	高規格救急自動車へ更新（東分署） アステラス製薬から寄贈を受ける
28年 4月	「平成28年熊本地震」発生・被災地へ職員派遣（緊急消防援助隊） （消火隊5名、支援隊2名【4/14～4/16 熊本県益城町・熊本県消防学校】）
8月	第45回全国消防救助技術大会【愛媛】 陸上の部 1名
10月	資機材搬送車(幌付き)更新（本署）
11月	高規格救急自動車へ更新（南分署）
29年 5月	朝地町綿田地区、地割れ・地滑り災害発生 大分県消防救助技術指導会に当本部から女性初の出場
7月	「九州北部豪雨」が発生
9月	台風18号上陸、朝地町の男性が川に流され捜索活動
10月	連絡車〔多目的消防車〕更新（本署）
30年 2月	火災原因調査車更新（本署）
4月	中津市耶馬溪町で山崩れが発生し住民6名が生き埋め 当市で開催予定であった大分県消防長会春季総会及び消防職員意見発表会が中止に
7月	「平成30年7月豪雨」が発生 緊急消防援助隊（5名）を派遣【7/25～28 広島】
11月	平成30年度大分豊肥地区総合防災訓練（大野総合運動公園ほか）

2. 管内の概況

豊後大野市は、大分県の南西部、大野川の上中流域に位置し、東西約 22km 南北約 31km 総面積 603.14 km²であり、県土の 9.5%を占めている。

北は大分市、東西を臼杵市・竹田市と接し、南端は九州の尾根といわれる祖母・傾国定公園で、ユネスコエコパークに登録されており、宮崎県境や佐伯市と接し、起伏に富み多くの清流を集めて別府湾に注ぐ大野川の豊かな水利を活かした県内屈指の農業地帯である。

気候は南海型気候に属し、平地気候と山地気候のほぼ中間にあり、一部の山岳地帯を除いて、平均気温は 15～16℃と四季を通じて概ね温暖である。



最東端北緯	33° 5' 13"	東経	131° 40' 44"
最西端北緯	32° 49' 41"	東経	131° 20' 49"
最南端北緯	32° 48' 12"	東経	131° 21' 54"
最北端北緯	33° 7' 14"	東経	131° 33' 18"

(1) 管内の人口と世帯数

平成 31 年 3 月 31 日現在

人 口			世帯数	面 積
男	女	計	16,090	603.14 km ²
16,587 人	19,131 人	35,718 人		

3. 予算・決算

(1) 消防予算、決算

項目 年度	消 防 費			市 一 般 会 計		
	予 算 額(千円)		決 算 額(円)	予 算 額(千円)		決 算 額(円)
	当 初 予 算	最 終 予 算		当 初 予 算	最 終 予 算	
平成25年度	827,796	925,476	897,120,884	21,500,000	28,069,992	25,850,499,781
平成26年度	977,501	988,310	951,330,285	26,080,000	28,704,060	26,617,534,597
平成27年度	922,625	914,981	878,855,290	24,420,000	27,163,984	25,910,164,710
平成28年度	965,112	968,400	941,972,177	24,050,000	27,610,208	24,618,149,462
平成29年度	870,026	976,364	945,542,799	22,280,000	28,226,884	24,949,703,289
平成30年度	924,965	940,250		25,175,000	28,030,059	

(2) 消防費世帯、人口等対比

項目 年度	1 世 帯 当 り の 消 防 費		人 口 1 人 当 り の 消 防 費		職 員 一 人 当 り の 消 防 費		市 決 算 額 に 対 する 消 防 費 決 算 額 の 比 率 (%)	基 準 財 政 需 要 額 に 対 する 消 防 費 決 算 額 の 比 率 (%)
	世 帯 数 (戸)	金 額 (円)	人 口 (人)	金 額 (円)	職 員 数 (人)	金 額 (円)		
	平成25年度	16,453	54,526	38,957	23,028	85		
平成26年度	16,411	57,969	38,312	24,831	85	11,192,121	3.57	109.3
平成27年度	16,389	53,625	37,832	23,230	85	10,339,474	3.39	100.0
平成28年度	16,346	57,627	37,215	25,312	85	11,082,026	3.83	112.5
平成29年度	16,234	58,245	36,453	25,939	85	11,124,033	3.79	112.7

(3) 消防費予算、決算 費目別

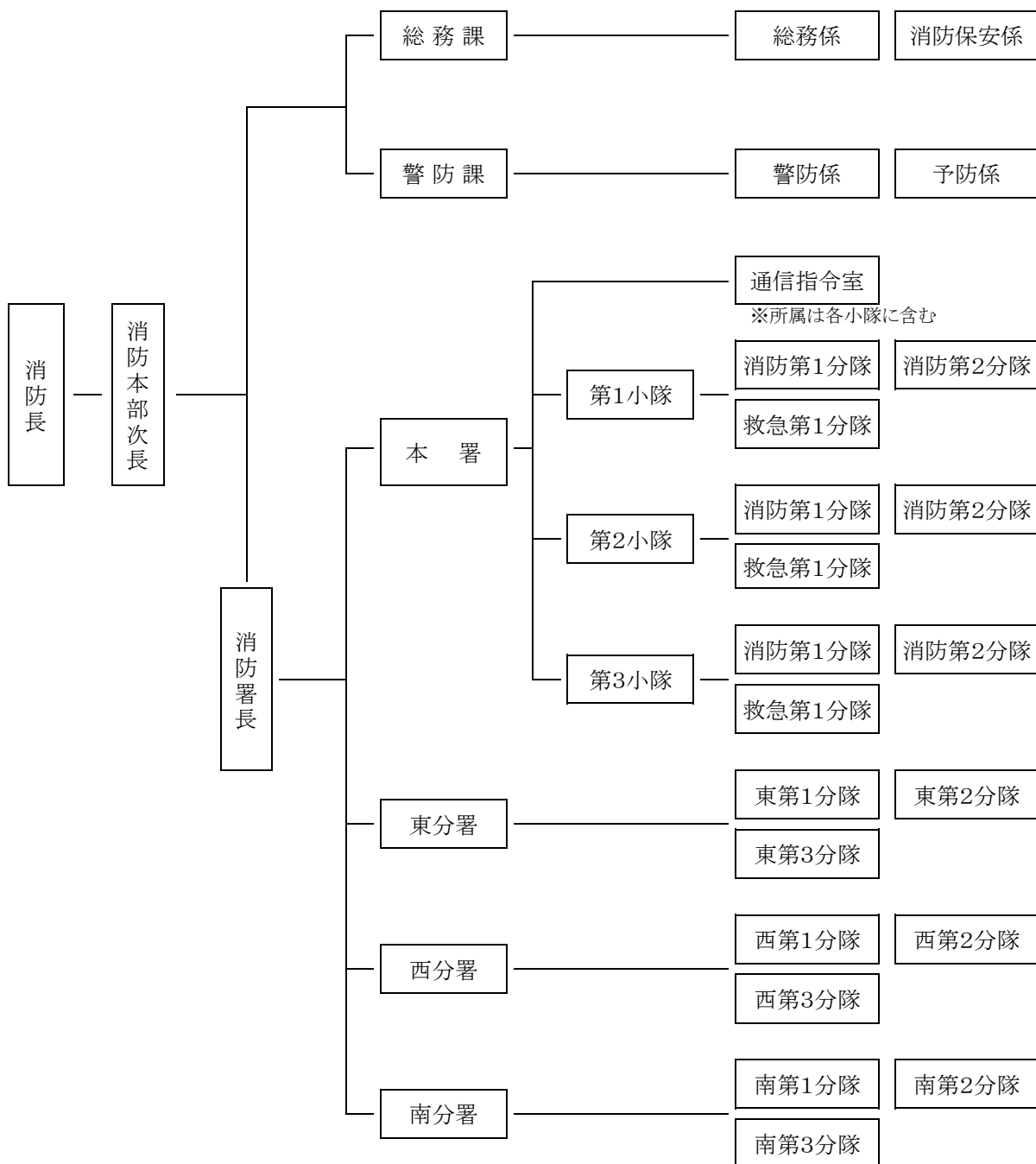
費目 年度	予 算 (当 初) (千 円)					
	常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	災 害 対 策 費	消 防 庁 舎 整 備 費	合 計
平成26年度	720,418	102,317	38,039	29,764	86,963	977,501
(%)	73.70	10.47	3.89	3.05	8.91	100
平成27年度	732,545	101,105	23,800	65,175		922,625
(%)	79.40	10.96	2.58	7.07		100
平成28年度	758,494	100,551	64,044	42,023		965,112
(%)	78.59	10.42	6.64	4.36		100
平成29年度	732,422	95,899	18,318	23,387		870,026
(%)	84.18	11.02	2.11	2.70		100
平成30年度	738,195	100,980	52,097	33,693		924,965
(%)	84.85	11.61	5.99	3.88		106

費目 年度	決 算 (円)					
	常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	災 害 対 策 費	消 防 庁 舎 整 備 費	合 計
平成25年度	722,878,427	93,720,247	49,784,565	30,737,645		897,120,884
(%)	80.58	10.45	5.55	3.43		100
平成26年度	701,934,187	97,928,130	36,467,083	28,895,725	86,105,160	951,330,285
(%)	73.78	10.29	3.83	3.04	9.05	100
平成27年度	717,700,193	89,825,465	22,627,372	48,702,260		878,855,290
(%)	81.66	10.22	2.57	5.54		100
平成28年度	745,984,611	100,712,856	58,922,983	36,351,727		941,972,177
(%)	79.19	10.69	6.26	3.86		100
平成29年度	780,097,969	81,980,078	44,262,615	39,202,137		945,542,799
(%)	82.50	8.67	4.68	4.15		100

第2章 組織と構成

1. 消防本部・消防署

(1) 組織図



(2) 消防本部・消防署の事務分掌

総務課

- (1) 消防予算の執行及び会計事務に関すること。
- (2) 消防事務事業の企画及び総合調整に関すること。
- (3) 庁舎及び物品に関すること。
- (4) 消防職員の人事及び給与等に関すること。
- (5) 消防職員の教養、服務及び規律に関すること。
- (6) 消防職員の公務災害及び保健衛生に関すること。
- (7) 公印の管守及び文書の保管に関すること。
- (8) 統計(消防年報を含む。)及び一般広報に関すること。
- (9) 消防施設の拡充及び整備に関すること。
- (10) 消防機械器具の維持管理に関すること。
- (11) 消防用通信施設に関すること。
- (12) 消防団員の任免及び懲戒等に関すること。
- (13) 消防団員の教養に関すること。
- (14) 消防団員の福利厚生に関すること。
- (15) 消防団員の公務災害補償に関すること。
- (16) 消防団員の退職報奨金に関すること。
- (17) その他消防団に関すること。
- (18) 他の課の主管に属しない事務に関すること

警防課

- (1) 消防計画に関すること。
- (2) 火災原因及び調査に関すること。
- (3) 水火災、その他の災害の警戒防ぎよに関すること。
- (4) 救急救助に関すること。
- (5) 消防団との連携調整に関すること。
- (6) 消防活動の統計に関すること。
- (7) その他消防業務に関すること。
- (8) 防火対象物等の立入検査及び予防指導に関すること。
- (9) 建築同意に関すること。
- (10) 防火管理者及び自衛消防組織に関すること。
- (11) 気象警報及び防火思想の普及に関すること。
- (12) 消防用設備の設置指導及び防火相談に関すること。
- (13) 防火基準適合表示に関すること。
- (14) 危険物の規制に関すること。
- (15) 婦人防火クラブ、幼年防火クラブ、少年消防クラブの育成指導に関すること。
- (16) 火災予防の統計に関すること。
- (17) その他予防業務に関すること。

消防署

- (1) 物品の収納及び保管に関すること。
- (2) 署の予算の策定及び予算経理に関すること。
- (3) 署員の福利厚生に関すること。
- (4) 予防査察に関すること。
- (5) 豊後大野市火災予防条例に基づく各種届の処理に関すること。
- (6) 火災予防防火思想の普及広報に関すること。
- (7) 火災の原因及び損害調査に関すること。
- (8) 水火災等の警戒、防御及び鎮圧に関すること。
- (9) 消防訓練及び演習に関すること。
- (10) 地域消防団及び自衛消防に関すること。
- (11) 庁舎及び施設の保守管理に関すること。
- (12) 消防車両等機械器具の保守管理に関すること。
- (13) 地理水利調査計画に関すること。
- (14) 水利台帳に関すること。
- (15) 水利整備促進に関すること。
- (16) 気象の記録及び統計に関すること。
- (17) 異常気象に関すること。
- (18) 救急医薬品の保守管理に関すること。
- (19) 医療機関との連絡調整に関すること。
- (20) 予防調査に関すること。
- (21) その他救急業務に関すること。
- (22) 消防通信に関すること。
- (23) その他通信業務に関すること。

(3) 名称・位置・管轄区域

名称	位置	管轄区域
豊後大野市 消防本部・署	豊後大野市三重町内田2827番地1	豊後大野市全域
南分署	豊後大野市緒方町上自在384番地	緒方町全域 清川町・朝地町・大野町の一部
西分署	豊後大野市大野町大原1293番地	大野町全域 朝地町・緒方町の一部
東分署	豊後大野市犬飼町下津尾4042番地1	犬飼町全域 三重町・千歳町・大野町の一部

2. 消防職員の状況

(1) 署所別職員数

(平成31年 4月 1日現在)

階級 署所	計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	備考
合計	86	1	7	21	33	11	12	1	
消防本部	11	1	3	3	3			1	その他1名 (本庁から出向)
消防署	37		3	9	14	5	6		
南分署	12			3	5	3	1		
西分署	12		1	3	5	2	1		
東分署	12			3	6	1	2		
派遣	0								
入校	2						2		県消防学校(初任教育) (H31.4.5~入校)

(2) 階級別年齢構成

(平成31年 4月 1日現在)

年 齢 \ 階 級	計	消 防 吏 員							その他 の職員
		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	小 計	
合 計	86	1	5	21	30	13	15	85	1
18 歳									
19 歳	2						2	2	
20 歳	1						1	1	
21 歳	2						2	2	
22 歳	1						1	1	
23 歳	1						1	1	
24 歳	2						2	2	
25 歳	1						1	1	
26 歳	3						3	3	
27 歳	3					2	1	3	
28 歳									
29 歳	1					1		1	
30 歳	3				1	2		3	
31 歳	6				2	4		6	
32 歳	7				2	4	1	7	
33 歳	2				2			2	
34 歳	5				5			5	
35 歳									
36 歳	4				4			4	
37 歳	2				2			2	
38 歳	7				7			7	
39 歳	3				3			3	
40 歳	2				2			2	
41 歳	2			2				2	
42 歳	2			2				2	
43 歳	2			2				2	
44 歳	2			2				2	
45 歳									
46 歳	2			2				2	
47 歳	4			4				4	
48 歳	2			2				2	
49 歳	1			1				1	
50 歳	3			2				2	1
51 歳	2			2				2	
52 歳									
53 歳	1		1					1	
54 歳									
55 歳									
56 歳									
57 歳	4		4					4	
58 歳	1	1						1	
59 歳									
60 歳									
平均年齢	37.0	58.0	56.2	46.0	35.8	30.4	23.7	36.8	50.0

(3) 職員教養状況

(平成31年 3月31日現在)

機関名	年 度 種別	H26	H27	H28	H29	H30					
		大分県消防学校						初任科	3	2	2
救急科	6							4	3	3	2
救助科	3								3		3
予防査察科	2								2		2
警防課程											
火災調査課程								1		1	
特殊災害科								2		2	
初級幹部科											
中級幹部科											
上級幹部科											
特殊技能講習											
操法指導者研修	3								3		3
訓練礼式指導者研修								3			
口頭指導研修	—							—	—	—	2
ビデオ喉頭鏡研修	—	—	—	—	7						
九州救急救命 研修所		救急救命士	2	2	2	2	2				
		指導救命士養成研修	1		1	1					
その他の委託機関		気管挿管病院実習	1	1	1	1	1				
		ビデオ喉頭鏡 病院実習	—	—	—	—	7				
		潜水士	2	2	4	4	4				
		小型クレーン・玉掛講習	3	3	3	3	3				
		巻上機運転講習	—	—	—	—	3				
		救急救命士処置拡大講習		3	12						
		九州地区警防実務研修			1						
		九州地区予防実務研修				1					
		運転技能者課程			1	1	1				
計		26	23	38	22	42					

第 3 章 施 設

1. 消防庁舎等の現況

名 称	所 在 地	構 造	建物面積
			敷地面積
豊後大野市 消防本部・消防署	豊後大野市三重町内田2827番地1	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建	1,791.52 m ²
			4,895.50 m ²
南 分 署	豊後大野市緒方町上自在384番地	鉄骨造平屋	216.75 m ²
			973.56 m ²
西 分 署	豊後大野市大野町大原1293番地	木造平屋	271.62 m ²
			1,396.85 m ²
東 分 署	豊後大野市犬飼町下津尾4042番地1	木造2階建	306.00 m ²
			870.00 m ²
訓 練 塔	豊後大野市三重町内田2827番地1	鉄骨造4階建及び 2階建	主塔高さ 18m 副塔高さ8.2m
無 線 局 舎	豊後大野市三重町松尾1199番地1 (佩楯山)	鉄骨造平屋	5.66 m ²

2. 車両

(1) 消防車両状況

平成31年 4月 1日現在

詳細 車両名	登録年 登録番号	車種別 ポンプ車分類等	メーカー名 ポンプメーカー名	型式 車両総重量	呼出名称	経過年数 配置場所
1号車	平成26年3月10日 大分830や119	普通 水Ⅱ型(2t積水)	日野 日本機械工業	SDG-GX7JGAA改 10330kg	しょうぼう みえ 1	4年0月 本署
2号車	平成16年3月18日 大分800さ5319	普通4WD CD-1型	いすゞ ナカムラ	KR-NKS81GR改 5630kg	しょうぼう みえ 2	14年0月 本署
救助工作車	平成21年3月13日 大分830は119	普通4WD クレーン、ウインチ他	日野 救助工作車Ⅱ型	BDJ-GX7JGWA改 10865kg	しょうぼう みえ 3	9年0月 本署
救急三重	平成22年3月31日 大分800さ9440	普通4WD 除細動器他	トヨタ 高規格救急自動車	CBF-TRH226S 3235kg	きゅうきゅう みえ 1	8年0月 本署
指揮車	平成23年3月25日 大分800さ9965	普通4WD 指揮車	日産	DBA-NT31 1785kg	しょうぼう みえ 6	7年0月 本署
火災原因調査車	平成30年2月15日 大分88す3871	普通4WD 原因調査車	トヨタ	CBF-TRH226K 2790kg	しょうぼう みえ 5	0年1月 本署
査察車	平成22年3月16日 大分880あ502	軽四4WD 予防査察車	ダイハツ	EBD-S331V 1420kg	しょうぼう みえ 4	8年0月 本署
多目的消防用車両	平成29年9月29日 大分480そ6110	軽四4WD 人員輸送兼用	ダイハツ	EBD-S331V 1410kg	しょうぼう みえ 11	0年6月 本署
支援車	平成26年1月31日 大分880あ911	軽四4WD 人員輸送兼用	ダイハツ	EBD-S331V 1440kg	しょうぼう みえ 7	4年2月 本署
広報車	平成22年12月17日 大分480く5210	軽四4WD 人員輸送兼用	ダイハツ	EBD-S331V 1400kg	しょうぼう みえ 10	7年3月 本署
資機材搬送車 (最大積載量3t)	平成28年10月28日 大分830せ2016	普通4WD 資機材搬送	日野	TKG-XZU685M 6355kg	しょうぼう みえ 8	1年5月 本署
資機材搬送車 (最大積載量1t)	平成12年9月7日 大分800さ5548	普通4WD 資機材搬送	トヨタ	GC-KM85 2535kg	呼出名称なし	17年6月 本署
消防緒方	平成22年3月17日 大分830ふ119	普通4WD 水Ⅰ型(1.5t積水)	日野 日本機械工業	BDG-GX7JGWA改 9700kg	しょうぼう おがた 1	8年0月 南分署
救急緒方	平成28年11月17日 大分800す3201	普通 除細動器他	トヨタ 高規格救急自動車	CBF-TRH226S 3265kg	きゅうきゅう おがた 1	1年4月 南分署
南指揮車	平成26年1月31日 大分880あ912	軽四4WD 人員輸送兼用	ダイハツ	EBD-S331V 1440kg	しょうぼう おがた 2	4年2月 南分署
消防大野	平成19年2月26日 大分830ぬ119	普通4WD 水Ⅰ型(1.5t積水)	日野 GMいちばら工業	ADG-GX7JGWA改 9480kg	しょうぼう おおの 1	11年1月 西分署
救急大野	平成23年1月28日 大分800さ9863	普通4WD 除細動器他	トヨタ 高規格救急自動車	CBF-TRH226S 3265kg	きゅうきゅう おおの 1	7年2月 西分署
西指揮車	平成19年8月29日 大分880あ260	軽四4WD 人員輸送兼用	ダイハツ	LE-S330V 1420kg	しょうぼう おおの 2	10年7月 西分署
消防犬飼	平成19年2月26日 大分830に119	普通4WD 水Ⅰ型(1.5t積水)	日野 日本機械工業	ADG-GX7JGWA改 9810kg	しょうぼう いぬかい 1	11年1月 東分署
救急犬飼	平成27年10月1日 大分800す2563	普通4WD 除細動器他	トヨタ 高規格救急自動車	CBF-TRH226S 3235kg	きゅうきゅう いぬかい 1	2年5月 東分署
東指揮車	平成19年8月29日 大分880あ259	軽四4WD 人員輸送兼用	ダイハツ	LE-S330V 1420kg	しょうぼう いぬかい 2	10年7月 東分署

3. 消防無線一覧

無線名	詳細	基地局	移動局		
			卓上型固定	車載	携帯
デジタル無線		1	4	22	45

4. 消防水利の現況

区分		町別							
		計	三重町	清川町	緒方町	朝地町	大野町	千歳町	犬飼町
現有数計		1,810	560	91	220	182	269	205	283
消火栓	公設	756	311	22	64	0	64	127	168
防火水槽	40 m ³ 以上	3	0	0	1	0	2	0	0
	40 m ³	746	163	59	130	122	143	30	99
	40 m ³ 未満	109	36	2	3	20	14	34	0
その他	河川 プール等	196	50	8	22	40	46	14	16

— 消 防 団 —

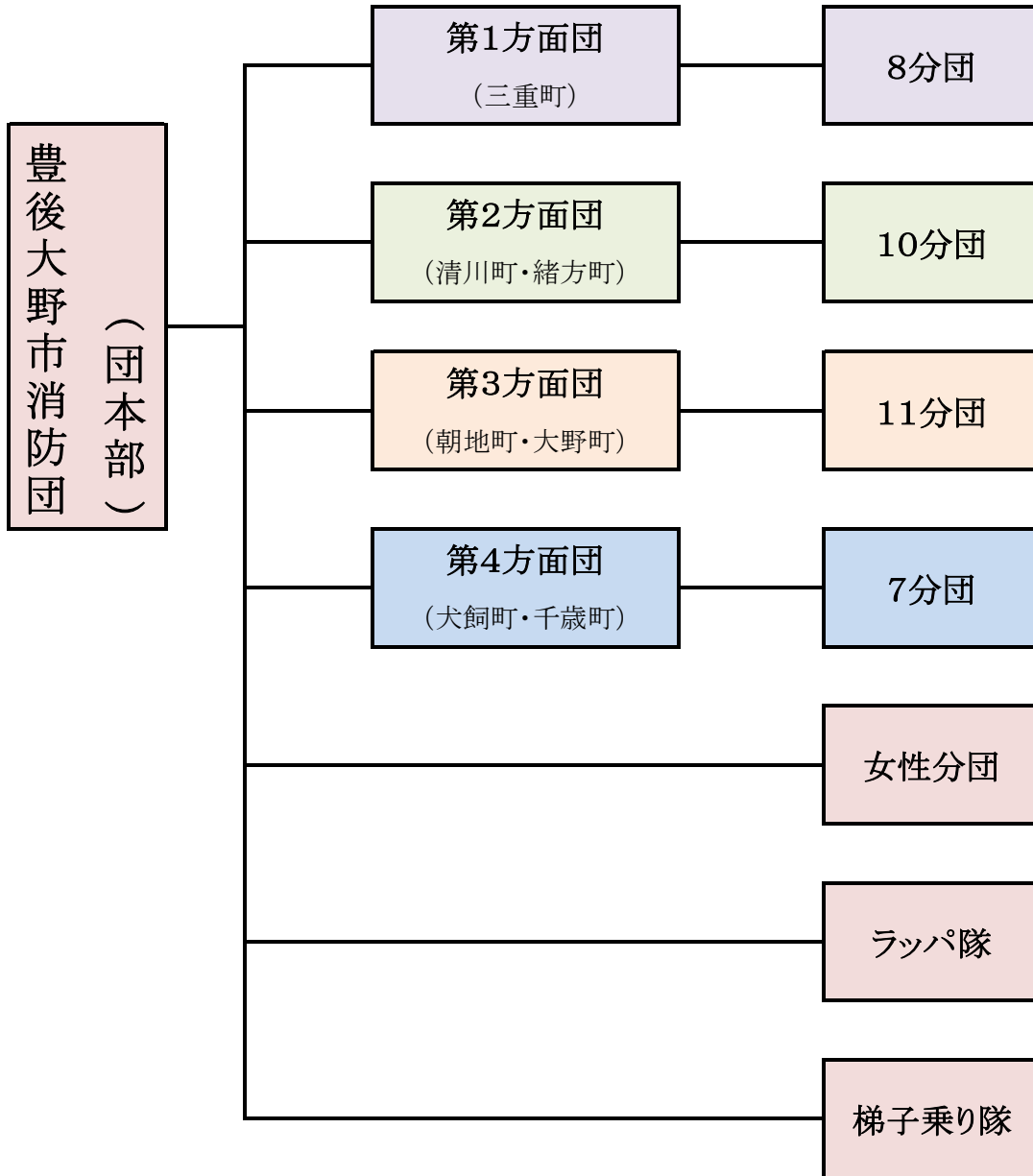
ひとつずつ

いいね！で確認

火の用心

1.豊後大野市消防団組織図

平成31年4月1日現在



方面団数	4方面団
分団数	36分団＋女性分団

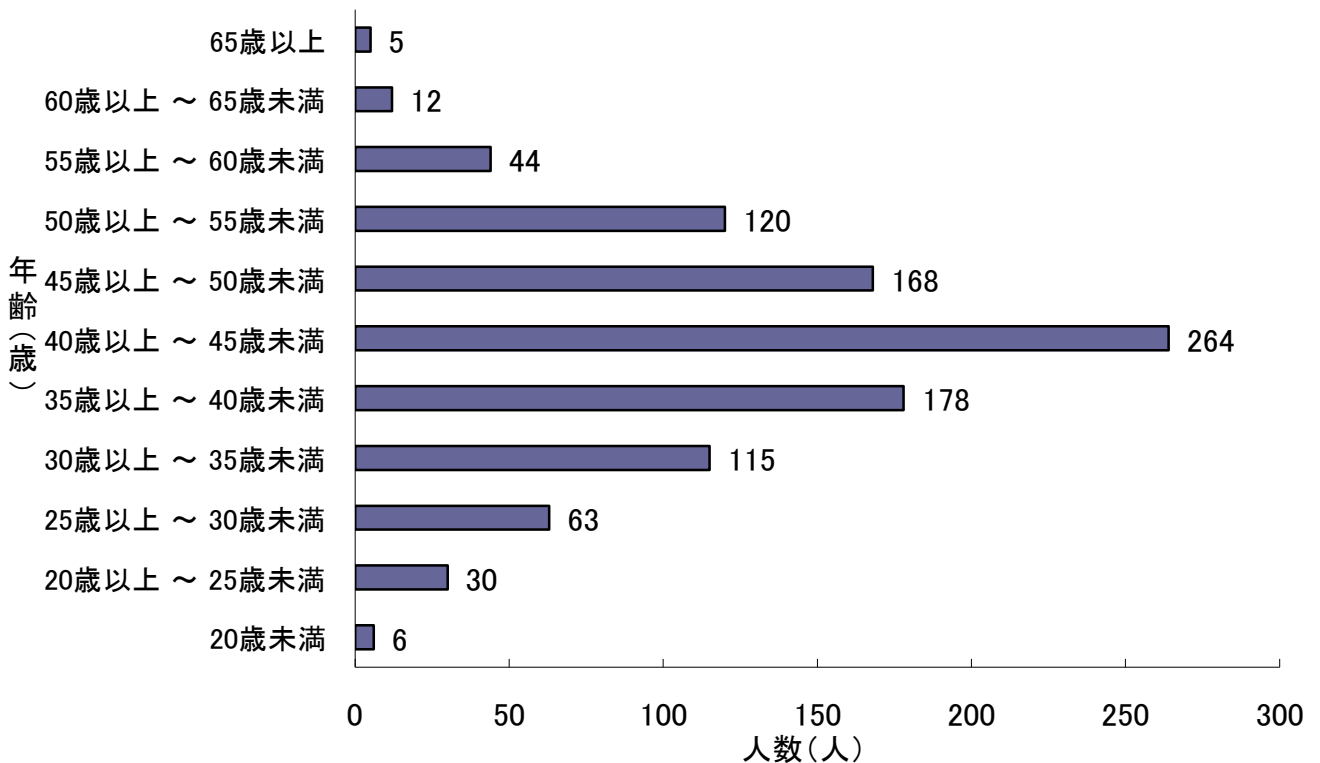
2.消防団の現況

(1) 年齢別職名別消防団員数

平成31年4月1日現在

		団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合計
年 齢	20歳未満						6	6
	20歳以上～25歳未満					1	29	30
	25歳以上～30歳未満				1	7	55	63
	30歳以上～35歳未満			1		18	96	115
	35歳以上～40歳未満			3	2	37	136	178
	40歳以上～45歳未満			12	18	88	146	264
	45歳以上～50歳未満			30	13	27	98	168
	50歳以上～55歳未満	1	1	17	5	15	81	120
	55歳以上～60歳未満		3	4		3	34	44
	60歳以上～65歳未満		1				11	12
65歳以上						5	5	
合 計		1	5	67	39	196	697	1,005
平 均 年 齢		54.0	57.4	47.1	43.9	41.2	40.6	41.4

年齢別消防団員数グラフ

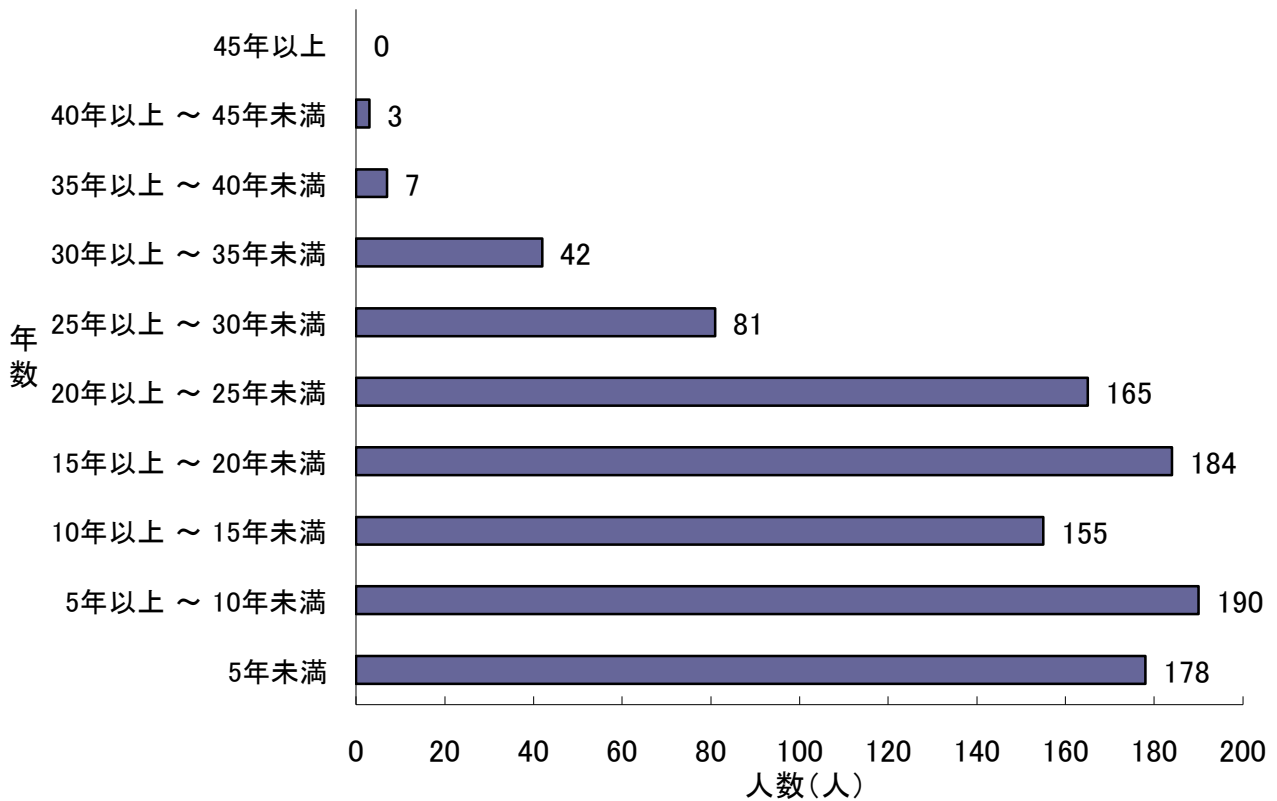


(2) 在職年数別職名別消防団員数

平成31年4月1日現在

		団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合計
在 職	5年未満				2	21	155	178
	5年以上～10年未満			2	3	39	146	190
	10年以上～15年未満			3	6	46	100	155
	15年以上～20年未満			13	8	47	116	184
	20年以上～25年未満			22	18	33	92	165
	25年以上～30年未満	1		17	2	9	52	81
	30年以上～35年未満		4	9		1	28	42
	35年以上～40年未満			1			6	7
	40年以上～45年未満		1				2	3
	45年以上							
合計		1	5	67	39	196	697	1,005
平均在職年数		28.0	34.4	22.9	17.8	13.4	13.0	14.1

在職年数別消防団数グラフ



(3) 消防団員及び消防団車両の配置状況

平成31年4月1日現在

		団員(階級)						団車両				
		団員数	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	配備数	ポンプ車	積載車	その他
	団本部	5	1	1	2			1				1
	女性分団	23			1	1		21				
第1方面団	方面団本部	9		1	8							
	第1分団	31			1	1	6	23	3	1	1	1
	第2分団	39			1	2	5	31	2		2	
	第3分団	56			1	1	6	48	3		3	
	第4分団	40			1	1	6	32	2	1	1	
	第5分団	26			1	2	6	17	2		2	
	第6分団	29			1	1	6	21	2		2	
	第7分団	23			1	1	6	15	2		2	
	第8分団	33			1	1	6	25	2		2	
第2方面団	方面団本部	8		1	7							
	第1分団	15			1	1	4	9	1		1	
	第2分団	23			1	1	3	18	1	1		
	第3分団	17			1	1	4	11	1		1	
	第4分団	18			1	1	3	13	1		1	
	第5分団	20			1	1	3	15	2		2	
	第6分団	30			1	1	8	20	1		1	
	第7分団	29			1	1	2	25	2		2	
	第8分団	22			1	1	5	15	1	1		
	第9分団	36			1	1	8	26	2	1	1	
	第10分団	37			1	1	10	25	2		2	
第3方面団	方面団本部	8		1	7							
	第1分団	21			1	1	5	14	1	1		
	第2分団	21			1	1	5	14	1		1	
	第3分団	21			1	1	5	14	1		1	
	第4分団	18			1	1	7	9	1		1	
	第5分団	20			1	1	5	13	1		1	
	第6分団	16			1	1	2	12	1		1	
	第7分団	22			1	1	4	16	1	1		
	第8分団	23			1	1	7	14	1		1	
	第9分団	23			1	1	8	13	1		1	
	第10分団	22			1	1	3	17	1		1	
	第11分団	25			1	1	7	16	2		2	
第4方面団	方面団本部	7		1	6							
	第1分団	22			1	1	5	15	2		2	
	第2分団	28			1	1	6	20	2		2	
	第3分団	27			1	1	6	19	2	1	1	
	第4分団	15			1	1	4	9	1		1	
	第5分団	20			1	1	4	14	1		1	
	第6分団	39			1	1	8	29	2		2	
	第7分団	38			1	1	8	28	3	1	2	
総計	1,005	1	5	67	39	196	697	58	9	47	2	

第 5 章 予 防

予防業務については、市内ケーブルテレビ及び音声告知放送を活用して火災予防の啓発や住宅用火災警報器の設置及び維持管理の必要性を呼びかけた。また、土木事務所棟の関係行政機関と連携を図りながら査察を実施し、防火対策の徹底を指導した。更に、病院・診療所・老人福祉施設への査察の際、法改正に伴う消防用設備等の設置推進を指導した。

【防火対象物数（150㎡以上）：1229棟・査察実施数：183棟・立入検査結果通知書発行数：67通】

危険物業務については、各種申請等の処理を行うとともに、管内危険物施設への査察を実施し、施設の維持管理及び危険物貯蔵取扱いの保安体制について指導を行った。また、給油取扱所を中心にガソリン等の危険物運搬容器の適正利用について指導したほか、警察署・保健所と合同で危険物運搬車両等への査察を実施した。

火薬類の事務については、譲受・消費許可証を交付するにあたり、煙火打上会場や発破現場への立入検査を行い、事故発生の防止に努めた。

平成30年度末の危険物施設数：159、査察施設数：147

1. 危険物及び火薬類等の事務処理状況

(1) 危険物施設事務処理状況

区分	施設別		貯 蔵 所							取 扱 所			合 計
	製 造 所		屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売	一 般	
全 施 設 数	1		7	41	1	17		27	4	40		21	159
申 請 処 理 件 数	許 可	設 置						1	1				2
		変 更	1			1		1		5			8
	完 成 検 査 前 検 査												
	完 成 検 査	設 置						1	1				2
		変 更	1			1		1		5			8
	仮 使 用 承 認					1				5			6
	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱												
予 防 規 程 認 可									11				11
届 出 受 理 件 数	譲 渡 引 渡 届							1		2			3
	種 類 数 量 変 更 届									1			1
	廃 止 届			1	4		1	2				3	11
	使 用 休 止 届				1					3		2	6
	使 用 再 開 届												
	保 安 監 督 者 選 解 任 届						2			6			8
	名 称 等 変 更 届				2		2			2		1	7
危 険 物 簡 易 変 更 届									11		2	13	
立 入 検 査		1	5	39		16		22	1	40		23	147

(2) 火薬類事務処理状況

区分		許可別		譲渡許可	譲受許可	譲受消費許可	煙火消費許可	廃棄許可	合計
		許可	許可証再交付						
申請処理件数	許可		2		7		5	2	16
	許可証再交付								
	許可証書換								
届出件数	申請変更届								
	保安責任者	選任・解任届			7				7
		継続届				3			
立入検査			1		4		10		15

(3) 少量危険物、圧縮アセチレンガス等届出状況

区分	少量危険物		指定可燃物	圧縮アセチレンガス	無水硫酸	液化石油ガス	生石灰	毒物及び劇物
	貯蔵取扱届	廃止届						
届出件数	20	14	2			7		

2. 防火対象物

(1) 令別表第1の防火対象物数 (延面積150㎡以上)

防火対象物		町 別	計	三重町	緒方町	清川町	大野町	千歳町	犬飼町	朝地町
		豊後大野市 合計								
1	イ 劇場等	5	2	1		1	1			
	ロ 集会場	66	21	13	3	13	8	6	2	
2	イ ナイトクラブ等									
	ロ 遊技場等	4	4							
	ハ 性風俗関連特殊営業等									
	ニ カラオケボックス等	1	1							
3	イ 料理店等	2	2							
	ロ 飲食店等	17	9	2		2		1	3	
4	百貨店等	69	47	9	1	5	2	2	3	
5	イ 旅館等	11	5	2	1	2		1		
	ロ 寄宿舎等	163	135	13		5	2	6	2	
6	イ 病院等	28	21	3		1		3		
	ロ 老人福祉施設等	53	23	3	2	10	7	5	3	
	ハ 老人デイサービス等	52	23	3	3	4	3	14	2	
	ニ 幼稚園等	7	3			1	1	2		
7	学校等	88	49	5	5	8	6	5	10	
8	図書館等	9	2	4			1		2	
9	イ 蒸気浴場等									
	ロ イ以外の公衆浴場等									
10	車両の停車場	1	1							
11	神社等	33	15	6	3	4	4	1		
12	イ 工場等	170	77	10	8	36	11	19	9	
	ロ 映画スタジオ									
13	イ 駐車場等	13	8				3	2		
	ロ 飛行機の格納庫	2				2				
14	倉庫等	85	35	6	8	18	7	5	6	
15	その他の事業場	226	101	19	22	32	21	17	14	
16	イ 複合用途防火対象物 (特定用途防火対象物)	76	46	7	3	5	2	9	4	
	ロ イ以外の 複合用途防火対象物	48	31	3		6	1	7		

(2) 中高層建築物(3階以上)の現況

町 別 防火対象物		合 計		三重町		緒方町		清川町		大野町		千歳町		犬飼町		朝地町	
		3階	4階以上	3階	4階以上	3階	4階以上	3階	4階以上	3階	4階以上	3階	4階以上	3階	4階以上	3階	4階以上
豊後大野市 合計		97	46	57	40	7	3	1		9	1	5		14	2	4	
1	イ 劇場等		1		1												
	ロ 集会場	3		1						2							
2	イ ナイトクラブ等																
	ロ 遊技場等																
	ハ 性風俗関連特殊営業等																
	ニ カラオケボックス等																
3	イ 料理店等	1		1													
	ロ 飲食店等																
4	百貨店等	2		1									1				
5	イ 旅館等		2		2												
	ロ 寄宿舎等	35	21	24	18	3	1			1	1	2		5	1		
6	イ 病院等	6	1	4	1	1								1			
	ロ 老人福祉施設等	1	3		2		1			1							
	ハ 老人デイサービス等	2												2			
	ニ 幼稚園等																
7	学校等	16	3	10	2	1	1			2		1		2			
8	図書館等																
9	イ 蒸気浴場等																
	ロ イ以外の公衆浴場等																
10	車両の停車場	1		1													
11	神社等	1		1													
12	イ 工場等	3	1									2			1	1	
	ロ 映画スタジオ																
13	イ 駐車場等																
	ロ 飛行機の格納庫																
14	倉庫等	1								1							
15	その他の事業場	11	4	6	4	1		1		2						1	
16	イ 複合用途防火対象物 (特定用途防火対象物)	11	3	5	3	1								3		2	
	ロ イ以外の 複合用途防火対象物	3	7	3	7												

(3) 項別防火対象物の消防用設備等設置状況(No. 1)

消防用設備 防火対象物(項別)		防火 管 理 者	消 防 計 画	消 火 設 備				各 種 消 火 設 備
				屋 内 消 火 栓	屋 外 消 火 栓	ス プ リ ン ク ラ ー	動 力 消 防 ポ ン プ	
豊後大野市 合計		228	227	115	23	99	4	14
1	イ 劇場等	1	1			1		
	ロ 集会場	21	20	5		1		パッケージ 2
2	イ ナイトクラブ等							
	ロ 遊技場等	4	4	3				パッケージ 2
	ハ 性風俗関連特殊営業等							
	ニ カラオケボックス等	1	1					
3	イ 料理店等							
	ロ 飲食店等	5	5					
4	百貨店等	35	35	8		5		パッケージ 1
5	イ 旅館等	8	8	2	1			
	ロ 寄宿舎等	8	8	5				
6	イ 病院等	9	9	4		5		
	ロ 老人福祉施設等	37	37	11	1	71		パッケージ 4
	ハ 老人デイサービス等	26	26	4		8		
	ニ 幼稚園等							
7	学校等	21	21	35	10			パッケージ 1
8	図書館等	4	4	2				
9	イ 蒸気浴場等							
	ロ イ以外の公衆浴場等							
10	車両の停車場							
11	神社等	4	4					
12	イ 工場等	10	10	16	9	1	2	パッケージ 1
	ロ 映画スタジオ							
13	イ 駐車場等							移動粉末 1
	ロ 飛行機の格納庫							泡消火 2
14	倉庫等	1	1	2	1		1	
15	その他の事業場	17	17	11			1	
16	イ 複合用途防火対象物 (特定用途防火対象物)	15	15	7		7		
	ロ イ以外の 複合用途防火対象物	1	1		1			

(3) 項別防火対象物の消防用設備等設置状況(No. 2)

消防用設備 防火対象物(項別)		警 報 設 備					避 難 設 備		消 火 活 動 上
		自 動 火 災 報 知	ガ ス 漏 警 報	漏 電 火 災 警 報	非 常 警 報 設 備	火 災 通 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯	
豊後大野市 合計		672	3	4	296	289	95	554	
1	イ 劇場等	2			5	1		2	
	ロ 集会場	36			30	10		40	
2	イ ナイトクラブ等								
	ロ 遊技場等	4			4	4	1	5	水圧S 1
	ハ 性風俗関連特殊営業等								
	ニ カラオケボックス等	2					1	2	
3	イ 料理店等				1	1		1	
	ロ 飲食店等	5			5		2	15	
4	百貨店等	56			34	33		75	水圧S 9
5	イ 旅館等	22			13	4	2	19	連結送水管 1
	ロ 寄宿舎等	56			36		56	3	
6	イ 病院等	23	1		13	15	3	34	
	ロ 老人福祉施設等	91			16	85	9	94	
	ハ 老人デイサービス等	75			14	36		86	
	ニ 幼稚園等	4			2	1	1	2	
7	学校等	78			42	20	7	21	
8	図書館等	8		1	1			6	
9	イ 蒸気浴場等								
	ロ イ以外の公衆浴場等								
10	車両の停車場								
11	神社等	1			8	3		3	
12	イ 工場等	80			9	33		25	水圧S 5
	ロ 映画スタジオ								
13	イ 駐車場等	2				1			
	ロ 飛行機の格納庫	2							
14	倉庫等	19		3		1	2	6	水圧S 2
15	その他の事業場	67	1		34	32	2	61	水圧S 2
16	イ 複合用途防火対象物 (特定用途防火対象物)	35	1		27	8	7	47	連結送水管 1
	ロ イ以外の 複合用途防火対象物	4			2	1	2	7	連結送水管 1

3. 各種届出状況(消防法令・火災予防条例)

(1) 豊後大野市火災予防条例による届出状況

種 別	届 出 数
計	331
ボ イ ラ ー ・ か ま ど 等 設 置 届	9
変 電 設 備 ・ ネ オ ン 管 等 の 設 備	17
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	27
火 災 と ま ぎ わ ら し い 煙 等 の 届 出	42
煙 火 の 打 ち 上 げ の 届 出	30
催 物 開 催 届 出	2
水 道 断 減 水 の 届 出	0
道 路 通 行 止 等 の 届 出	204
水 素 ガ ス を 充 填 す る 気 球 の 設 置 届	0

(2) 消防用設備状況

消防用設備の種類	着 工 届	設 置 届	検 査 済 証
計	54	118	118
消 火 設 備	9	28	28
警 報 設 備	20	38	38
避 難 設 備	0	18	18
火 災 通 報 設 備	25	34	34

(3) 防火管理者等の届出状況

種 別	届 出 数
計	606
防 火 管 理 者 選 解 任 届 出	47
消 防 計 画 作 成 届 出	54
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書 届 出	505

(4) 指導書及び意見書の状況

種 別	件 数
計	84
対 象 物 に 対 す る 指 導 書 (建 築 同 意 時)	17
立 入 検 査 結 果 通 知 書	67

4. 気象の状況

(1) 月別温度・湿度状況

月別 項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
温度(°C)	3.40	3.60	10.00	15.40	18.60	21.70	26.90	27.00	22.50	16.50	11.20	7.40
5年間平均	4.40	4.92	9.10	14.78	19.06	21.32	26.20	26.58	22.18	17.34	11.88	6.50
湿度(%)	81.80	81.20	68.60	64.30	71.30	80.30	78.80	78.20	84.40	77.70	77.80	77.10
5年間平均	82.86	81.94	77.70	78.80	77.24	86.86	88.34	86.84	90.00	87.92	87.96	83.68

(2) 月別風速・雨量状況

月別 項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風速(m)	2.0	2.1	2.0	2.1	1.9	1.6	1.9	2.0	1.5	1.6	1.1	1.5
5年間平均	1.9	2.0	1.9	2.0	1.9	1.5	1.7	1.8	1.3	1.5	1.2	1.8
雨量(mm)	27.0	46.5	102.5	19.0	105.0	317.0	346.5	127.5	520.0	185.0	47.5	54.5
5年間平均	50.0	66.3	78.9	90.5	104.2	348.4	265.7	210.4	356.6	218.4	61.8	47.8

第 6 章 消 防

1. 火災の概況

平成30年中の火災総出動件数（非火災を含む）は53件で、火災件数13件、建物焼損面積633.4㎡、林野焼損面積41.1a、損害額は31,588千円となっている。また、火災による死者は1名、負傷者は1名であった。

前年と比較すると、火災の件数は8件の減、建物焼損面積で792.6㎡、林野焼損面積228.9a減少し、損害額では16,997千円の減少となった。火災による死者は1名増加となり、負傷者は1名減少している。

火災種別でみると、建物火災が最も多く7件（53.8%）、林野火災は3件（23.1%）、車両・その他火災は3件（23.1%）となっている。

（1）前年との対比

種 別	火 災 種 別	平 成 29 年	平 成 30 年	対 比
火災件数	建 物 火 災	9	7	△ 2
	林 野 火 災	6	3	△ 3
	車 両 ・ そ の 他 火 災	6	3	△ 3
	合 計	21	13	△ 8
損 害 額 （ 千 円 ）		48,585	31,588	△ 16,997
焼損棟数	全 焼	9	9	
	半 焼	10	1	△ 9
	部 分 焼		1	1
	合 計	19	11	△ 8
面 積	建 物 （ ㎡ ）	1,426.0	633.4	△ 792.6
	林 野 （ a ）	270.0	41.1	△ 228.9
人的被害	死 者		1	1
	負 傷 者	2	1	△ 1
り災状況	り 災 世 帯 数	9	5	△ 4
	り 災 人 員	17	6	△ 11
出動状況	消防署、出動延人員	310	183	△ 127
	消防署、ポンプ出動台数	99	38	△ 61
1 件 当 り 出 動 人 員		15	14	△ 1
1 件 当 り ポ ン プ 出 動 台 数		5	3	△ 2
1 件 当 り 損 害 額 （ 千 円 ）		2,314	2,430	116

(2) 月別火災状況

種別 月別	出火件数					焼損棟数						り災世帯		死傷者		焼損面積		
	計	建物	林野	車両	その他	計	火元			類焼			世帯	人員	死者	負傷者	建物 (m ²)	林野 (a)
							全焼	半焼	部分焼	全焼	半焼	部分焼						
1	2		2															37.4
2	4	2		1	1	2	1	1				3	3	1	1		263.0	
3																		
4	3	1	1		1	3	1			2							160.0	3.7
5	1	1				2	1			1							46.5	
6																		
7	1	1				1	1					1	1				37.9	
8																		
9																		
10	1	1				2	1			1							40.0	
11	1	1				1	1					1	2				86.0	
12																		
合計	13	7	3	1	2	11	6	1		4		5	6	1	1		633.4	41.1

(3) 曜日別火災状況

種別 曜日別	出火件数					焼損棟数						り災世帯		死傷者		焼損面積		
	計	建物	林野	車両	その他	計	火元			類焼			世帯	人員	死者	負傷者	建物 (m ²)	林野 (a)
							全焼	半焼	部分焼	全焼	半焼	部分焼						
日曜日	2	1	1			2	1			1							40.0	1.3
月曜日	1				1													
火曜日	2		1		1													36.1
水曜日	2	2				2	1		1			2	3				123.9	
木曜日	2	2				2	1	1				3	3	1	1		263.0	
金曜日	2	1		1		3	1			2							160.0	
土曜日	2	1	1			2	1			1							46.5	3.7
不明																		
合計	13	7	3	1	2	11	5	1	1	4		5	6	1	1		633.4	41.1

(4) 月別出動状況

月別 種別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
合計	53	5	5	5	6	5	4	4	3	4	5	4	3
建物火災	7		2		1	1		1			1	1	
林野火災	3	2			1								
車両火災	1		1										
その他	2		1		1								
非火災	40	3	1	5	3	4	4	3	3	4	4	3	3

(5) 用途別出火原因数

区分 用途別	出 火 件 数	出 火 原 因											
		た ば こ	こ た つ	火 遊 び	焚 き 火	放 火	コ ン ロ	風 呂 ・ か ま ど	ス ト ー ブ	乾 燥 機	電 気 等 の 配 線	そ の 他	原 因 不 明
合計	13	1										4	8
集会場													
遊技場 飲食店													
百貨店 店舗等													
旅館等													
病院等													
学校等													
神社等													
工場等													
倉庫等													
事務所													
住宅	6	1										2	3
非住宅	1												1
山林	3											1	2
車両	1												1
その他	2											1	1

2. 過去の火災統計

(1) 年次別火災発生件数

区分		年次	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
発生 件数	建物火災		12	6	9	9	7
	林野火災		3	3	6	6	3
	車の その他		4	3	6	6	3
	合計		19	12	21	21	13
損害 額 (千円)	建物火災		45,335	27,078	383	45,887	31,588
	林野火災		1,233	30		179	
	車の その他		270	1,325	117	2,519	
	合計		46,838	28,433	500	48,585	31,588

(2) 原因別火災発生件数

原因別		年次		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年	
		件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額		
たばこ	マッ	こ	10	10,757			1	0	1	0	1	25,459	
こ	た	つ											
火	遊	び			1	12,039							
焚	き	火	4	209									
放	火	の	6	175	2	236							
コ	ン	ロ			1	178			1	142			
風	呂	場	1	5,276	1	1,267	1	6,394					
ス	ト	ー							1	156			
乾	燥	機											
電	気	器	2	355	5	25,568	1	162	1	20			
電	気	等											
そ	の	他	12	2,196	5	1,302	5	1,327	3	182	4	2,001	
原	因	不	6	2,850	4	6,249	4	20,550	1	0	8	4,128	
合	計		41	21,818	19	46,839	12	28,433	8	500	13	31,588	

第 7 章 救 急

1. 救急の概況

平成30年における救急出動件数は、2,173件で昨年より63件増加している。また、搬送人員も2,030名と昨年より35名の増加となり、1日平均では6.0件出動し5.6名を搬送したことになる。

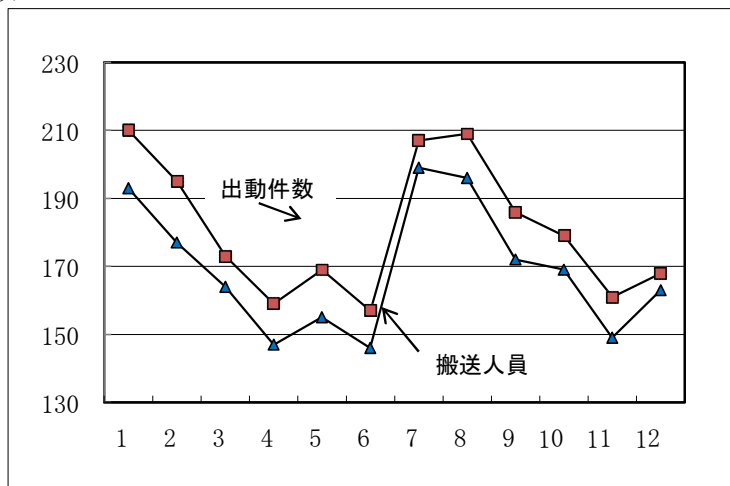
事故種別で見ると、急病が最も多く1,265件（58%）、転院搬送461件（21%）、一般負傷301件（14%）、交通事故108件（5%）、他38件（2%）であった。

昨年と比較し、火災1件、水難3件、交通46件、自損5件の減少となっている。

(1) 事故種別救急件数

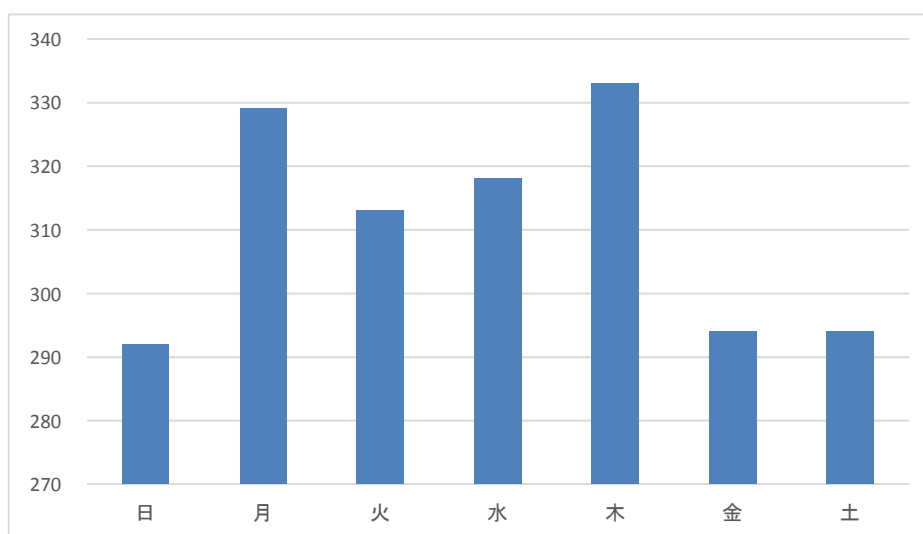
種別 区分	合計	救 急 事 故 種 別											
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
												転院	その他
出 動 件 数	2,173	2		1	108	14	10	301	2	8	1,265	461	1
搬 送 人 員	2,030	1		1	100	13	9	275	2	3	1,165	461	

(2) 月別発生件数



月 別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
出 動 件 数	2,173	210	195	173	159	169	157	207	209	186	179	161	168
搬 送 人 員	2,030	193	177	164	147	155	146	199	196	172	169	149	163

(3) 曜日別出動状況



曜日別	日	月	火	水	木	金	土	合計
出動件数	292	329	313	318	333	294	294	2,173

(4) 医療機関別搬送人員

医療機関		事故種別				
		計	交通	一般	急病	その他
医療機関	国公立	670	21	81	394	174
	公的	487	40	93	316	38
	私病院	837	37	95	439	266
	私的診療所	9	1	0	7	1
その他		27	1	6	9	11
合計		2,030	100	275	1,165	490

(5) 覚知から医療機関等に要した時間別搬送人員

種別	時間						計
	10分未満	10~20	20~30	30~60	60~120	120分以上	
急病	0	95	238	681	150	1	1,165
交通事故	0	6	21	57	15	1	100
一般負傷	0	19	47	161	48	0	275
上記以外	0	31	28	336	95	0	490
計	0	151	334	1,235	308	2	2,030

(6) 時間別救急出動. 搬送人員件数

種 別 時 間	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
												小 計	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他
救 急 出 動	合計	2,173	2	1	108	14	10	301	2	8	1,265	462	461			1
	0～2	76			5			9			54	8	8			
	2～4	69						9			55	5	5			
	4～6	64				1		8			53	2	2			
	6～8	137				8		21		1	102	5	5			
	8～10	271				11	2	47	2	2	157	50	49			1
	10～12	282	1			10	2	3	36		1	130	99	99		
	12～14	289				17	5	1	36		2	136	92	92		
	14～16	267				19	1	1	42			130	74	74		
	16～18	285			1	20	3	3	37			152	69	69		
	18～20	208				11	1	1	31		2	130	32	32		
	20～22	134	1			2		1	18			95	17	17		
	22～24	91				4			7			71	9	9		
搬 送 人 員	合計	2,030	1	1	100	13	9	275	2	3	1,165	461	461			
	0～2	70			2			8			52	8	8			
	2～4	61						6			50	5	5			
	4～6	55			1			8			44	2	2			
	6～8	128				7		21			95	5	5			
	8～10	253				11	2	45	2		144	49	49			
	10～12	264				8	2	3	34		1	117	99	99		
	12～14	270				15	5	1	31		1	125	92	92		
	14～16	258				21		1	39			123	74	74		
	16～18	267			1	19	3	3	33			139	69	69		
	18～20	193				10	1		28		1	121	32	32		
	20～22	125	1			2		1	16			88	17	17		
	22～24	86				4			6			67	9	9		

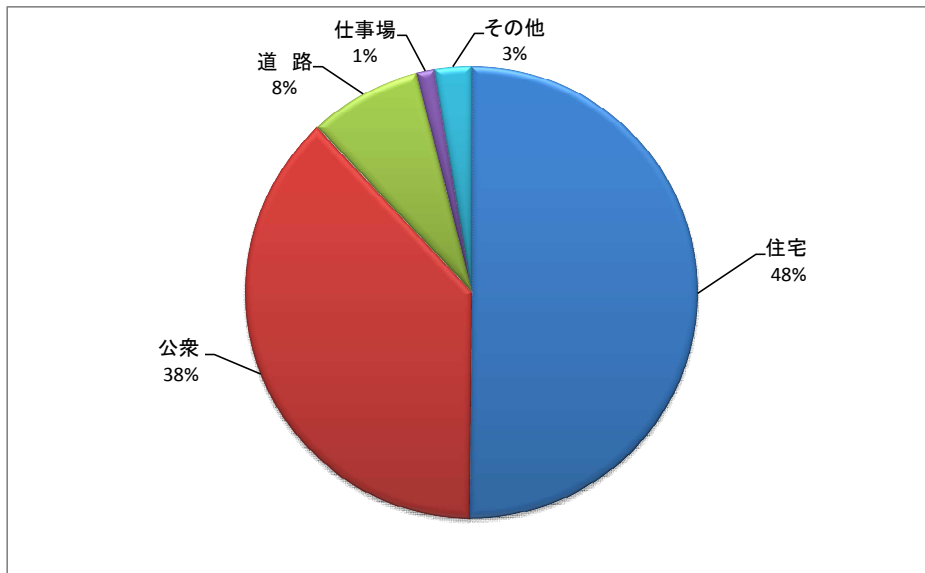
(7) 覚知別救急出動状況

月別 覚知別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
合計	2,173	210	195	173	159	169	157	207	209	186	179	161	168
1 1 9	856	96	79	71	64	61	58	77	85	73	64	58	70
携帯 1 1 9	571	57	47	48	34	47	50	60	49	42	42	54	41
一般加入	715	54	65	52	58	58	48	68	69	69	71	47	56
駆け込み	17	1	3	2	1		1	1	4		2	2	
緊急通報	2									1			1
その他	12	2	1		2	3		1	2	1			

(8) 傷病程度別搬送状況

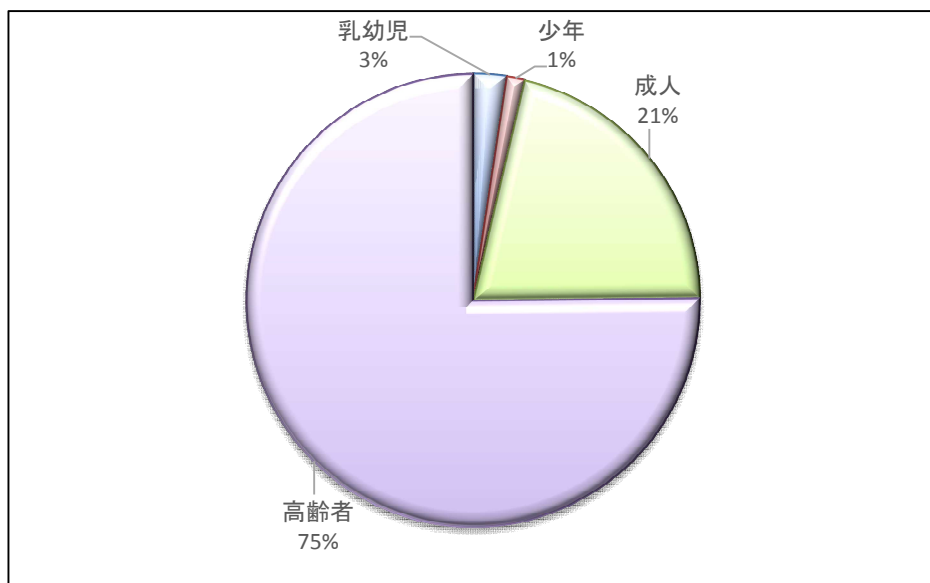
種別 程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡			1				5			39		45
重症				9	2		76	2	1	173	126	389
中等症	1			31	10	3	115		1	597	317	1,075
軽症				60	1	6	76			354	18	515
その他							3		1	2		6
合計	1		1	100	13	9	275	2	3	1,165	461	2,030

(9) 場所別出動状況



住宅	1,090
公衆	823
道路	174
仕事場	29
その他	57
合計	2,173

(10) 年齢区分別搬送状況



凡 例

新生児 : 生後28日未満

乳幼児 : 生後28日以上7歳未満

少年 : 7歳以上18歳未満

成人 : 18歳以上65歳未満

高齢者 : 65歳以上

新生児	
乳幼児	48
少年	26
成人	430
高齢者	1,526
計	2,030

(11) 年齢区分別傷病程度状況

程 度 \ 区 分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死 亡				9	36	45
重 症				60	329	389
中 等 症		21	6	191	857	1,075
軽 症		27	20	169	299	515
そ の 他				1	5	6
合 計		48	26	430	1,526	2,030

2. 過去の救急統計

(1) 事故別出動状況

年 別	種 別	計	火災	自 然 災 害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	そ の 他	
													転 院	その他
平26	件 数	2,102	4			113	15	10	340	2	11	1147	458	2
	%	98%	0.2%	0.0%	0.0%	5.3%	0.7%	0.5%	15.9%	0.1%	0.5%	53.6%	21.4%	0.1%
平27	件 数	2,138	3	2	2	154	3	18	293	5	10	1153	491	4
	%	101%	0.1%	0.1%	0.1%	7.3%	0.1%	0.9%	13.9%	0.2%	0.5%	54.6%	23.2%	0.2%
平28	件 数	2,113	1			138	12	13	284	7	10	1215	426	7
	%	100%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%	0.6%	0.6%	13.5%	0.3%	0.5%	57.6%	20.2%	0.3%
平29	件 数	2,110	3		4	154	9	13	293		13	1208	410	3
	%	100%	0.1%	0.0%	0.2%	7.3%	0.4%	0.6%	13.9%	0.0%	0.6%	57.3%	19.4%	0.1%
平30	件 数	2,173	2		1	108	14	10	301	2	8	1265	461	1
	%	100%	0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.6%	0.5%	13.9%	0.1%	0.4%	58.2%	21.2%	0.0%

(2) 月別出動状況

年 別	月 別	計	月											
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成26年		2,102	174	190	172	164	211	159	178	186	175	137	164	192
平成27年		2,138	208	157	157	165	161	170	174	245	159	187	166	189
平成28年		2,113	191	174	156	148	173	161	186	191	175	167	203	188
平成29年		2,110	208	169	173	171	180	176	180	186	162	170	153	182
平成30年		2,173	210	195	173	159	169	157	207	209	186	179	161	168

第 8 章 救 助

1. 救助の概況

平成30年における救助出動件数は30件で、前年と比較し6件の減少となっている。このうち救助活動件数は15件であり、活動を種別毎で見ると、交通事故が5件で全体の33.3%を占め、水難事故2件（13.3%）、機械による事故1件（6.7%）、建物等による事故1件（6.7%）、その他の事故6件（40%）となっている。

(1) 活動状況

種別 区分	火災		交通 事故	水 難 事 故	自風 然水 災害 等	事機 械に よ る	事建 物等 によ る	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外									
出動件数			16	2		2	1			9	30
活動件数			5	2		1	1			6	15

第 9 章 警 戒 出 動

1. 警戒出動の概況

平成30年における警戒出動件数は204件で、出動内訳はPA連携での出動が130件と最も多く全体の（64%）を占め、次いでヘリポート警戒の28件（14%）風水害4件（2%）、行方不明者の捜索2件（1%）、その他37件（19%）となっている。

前年と比較すると、出動件数は22件減少している。PA連携の出動が8件減少しその他の出動が13件増加している。ドクターヘリの要請に伴うヘリポート警戒の出動は昨年とほぼ同じ出動件数となっている。

(1) 出動内訳

